

おんびん いちらん  
音便一覧

おんびん 音便	ひんし 品詞	かつよう しゆるい 活用の種類	れい 例	かいせつ 解説
おんびん イ音便 き・ぎ・し → い	どうし 動詞	よだん かつよう 四段活用	(カ行) か 書 <sup>ぎょう</sup> きて → 書 <sup>か</sup> いて	
			(ガ行) いそ 急 <sup>ぎょう</sup> ぎて → 急 <sup>いそ</sup> いで	
			(サ行) さ 指 <sup>ぎょう</sup> して → 指 <sup>さ</sup> いて	
けいようし 形容詞	かつよう ク活用	たか やま 高 <sup>か</sup> き山 → 高 <sup>たか</sup> い山		
		かつよう シク活用		うつく ひと 美 <sup>うつく</sup> しき人 → 美 <sup>うつく</sup> しい人
た 他			きさき(后)の宮 → きさいの宮 まして → まいて	
おんびん ウ音便 ひ・び・み・く → う	どうし 動詞	よだん かつよう 四段活用	(ハ行) おも 思 <sup>ぎょう</sup> ひて → 思 <sup>おも</sup> うて	
			(バ行) よ 呼 <sup>ぎょう</sup> びて → 呼 <sup>よ</sup> うで	
			(マ行) たの 頼 <sup>ぎょう</sup> みて → 頼 <sup>たの</sup> うで	
	けいようし 形容詞	かつよう ク活用	たか 高 <sup>か</sup> くて → 高 <sup>たか</sup> うて	
かつよう シク活用		うつく 美 <sup>うつく</sup> しくなる → 美 <sup>うつく</sup> うなる		
た 他			おちひと(落人) → おちうと / おちうど	
はつおんびん 撥音便 び・みに・る → ん	どうし 動詞	よだん かつよう 四段活用	(バ行) よ 呼 <sup>ぎょう</sup> びて → 呼 <sup>よ</sup> んで	
			(マ行) す 住 <sup>ぎょう</sup> みて → 住 <sup>す</sup> んで	
		ぎょうかん かつよう ナ行変格活用	し 死 <sup>し</sup> にて → 死 <sup>し</sup> んで	
	ぎょうかん かつよう ラ行変格活用	あるべし → あんべし	・これらの語が撥音便化した後に「なり」が付いている場合、その「なり」は断定の「なり」ではなく、伝聞・推定の「なり」である。 ・「あべし」、「高かなり」などと、「ん」が表記されないことが多いが、その場合も「ん」を発音する。	
	かつよう ク活用	たか 高 <sup>たか</sup> かるなり → 高 <sup>たか</sup> かなり		
かつよう シク活用	うつく 美 <sup>うつく</sup> しかるめり → 美 <sup>うつく</sup> しかんめり			
けいようどうし 形容動詞	かつよう ナリ活用	しづ 静 <sup>しづ</sup> かなるめり → 静 <sup>しづ</sup> かなんめり		
そくおんびん 促音便 ち・ひ・り → っ	どうし 動詞	よだん かつよう 四段活用	(タ行) ま 待 <sup>ま</sup> ちて → 待 <sup>ま</sup> って	
			(ハ行) おも 思 <sup>おも</sup> ひて → 思 <sup>おも</sup> って	
			(ラ行) し 知 <sup>し</sup> りて → 知 <sup>し</sup> って	
		ぎょうかん かつよう ラ行変格活用	ありて → あって	

※ 音便とは、言葉の本来の音が、後の言葉に続きやすいように変わること、主に用言の語尾に見られる。平安時代以降盛んになった。